



フィールズ株式会社

証券コード：2767

2013年3月期

株主通信 (中間)

2012.4.1 → 2012.9.30

すべての人に最高の余暇を

CONTENTS

- 01 会長メッセージ
- 03 マネジメントレビュー
- 06 Fields Topics
キャラクターをはじめとした知的財産の取得・創出・育成を推進
- 07 企業の社会的責任 (CSR) への取り組み
- 09 連結財務諸表 (要約)
- 11 コーポレートデータ
- 12 株式情報
- 13 第三者によるフィールズの分析レポート/IRコミュニティ



VOICE & VISION

Message From the Chairman & CEO

会長メッセージ



すべての人に最高の余暇を
The Greatest Leisure for All People

山本 英俊

代表取締役会長 (CEO)

山本 英俊

安定的かつ継続的にキャラクターを中心とした 知的財産ビジネスを強化・発展させていきます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、昨年3月に発生した東日本大震災から約1年9ヶ月が経過いたしました。復興は依然として途上にあり、被災された皆様には一日も早い心身とものご回復と地域のご復興をお祈り申し上げます。

当社及び当社グループは、被災地のご復興に協力すべく「ウルトラマン基金」を通じ、新しい未来を切り開く子どもたちへの支援活動をはじめとした様々な取り組みを進めています。一方で、事業活動を通じ、世の中の人々の生活に豊かさをもたらすため、エンタテインメント性の高い商品やサービスの提供に努めています。私たちは、こうした「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けた取り組みを重ねることで、自らの成長のみならず、社会全体の幸せに寄与したいと考えています。

当社は、2003年の株式上場時に、企業の競争優位性の基盤として知的財産の多元展開を基幹とする戦略を打ち出し、パートナー企業や表現者と連携して、取得した知的財産を多様なメディアに展開してきました。加えて、数年前よりパチンコ・パチスロ分野に主軸をおいたビジネスモデルから、知的財産に主軸をおいたビジネスモデルへと戦略転換を企図し、「成長するビジネスモデル」としての戦略の整理・構築を進めています。こうした取り組みは、コミックスやアニメーション、さらには成長著しいソーシャル・メディアの分野において着実に形となって表れつつあります。

私たちフィールズは、この先も安定的かつ継続的にキャラクターを中心とした知的財産ビジネスを強化・発展させ、知的財産の取得・創出・育成をもって、さらに多くの人々の余暇を豊かにする企業へと大きく成長を遂げてまいります。これまでも企業理念にご賛同賜り、お力添えを頂いてまいりました株主の皆様をはじめ取引先や従業員、そのご家族の皆様に深く感謝いたしますとともに、皆様からのご期待に応えるべく全社一丸となってまい進してまいりますので、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年12月

知的財産の価値最大化を主軸とする事業活動を推進しています。

2013年3月期上半期（以下、当期）の総括

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本株主通信をお届けするにあたり、変わらぬご支援とご愛顧に深く感謝申し上げます。

当期においては、2012年5月に発表した「成長するビジネスモデル」（コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャンダイジングにおけるシームレスな循環型ビジネス展開）に基づき、知的財産の価値最大化を主軸とする事業活動を推進しています。中でも、収益を担うマーチャンダイジング分野では、成長著しいソーシャル・メディアに向けた事業において、前第3四半期から本格的に注力しているソーシャル・ゲームが当期も順調に推移しており、前年同期と比較して収益は拡大しました。一方、遊技機販売の事業では、下半期に大型タイトル商品の投入が集中していることから、販売台数は前年同期と比較して減少しました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高291億円（前年同期比12.7%減）、営業損失18億円（前年同期は営業利益15億円）、経常損失17億円（同経常利益17億円）、四半期純損失9億円（同四半期純利益24億円）となりました。



大屋 高志

代表取締役社長（COO）
大屋 高志



専務取締役
インタラクティブメディア事業本部長 兼
コンシューマプロダクツ事業本部長
繁松 徹也

当期の主な事業の取り組み

コミックス、アニメーション、映画/テレビ分野は、知的財産の取得・創出・育成に向けた諸施策を着実に進めています。

キャラクターをはじめとする知的財産の創出・育成では、魅力あふれるヒーローの創造を目指し、2011年11月に創刊したコミック誌『月刊ヒーローズ』作品のクロスメディア展開に向け、単行本『ヒーローズコミックス』を2012年9月に発刊しました。同単行本は、毎月3~4作品を刊行していきます。

さらに、オリジナルの知的財産の創造に向け、(株) 創通や東宝(株)などの有力企業と連携して、『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』のアニメーション化を進めています。

アニメーション映画『ベルセルク』シリーズ(3部作)は、2012年6月に第2部を公開しました。同知的財産は、2013年2月の第3部公開に向け、循環型ビジネスモデルを活用して、様々なクロスメディア展開に向けた企画・開発を進めています。

また、有力な知的財産の権利保有企業とともに、循環型ビジネスモデルを有する当社が知的財産のクロスメディア展開を行い、それら作品群を長期にわたって協働で育成していくパートナーシップ戦略も推進しています。

マーチャンダイジング分野は、取得・創出・育成した知的財産を活用し、各メディアに適したコンテンツとして展開することで、知的財産の価値最大化及び収益の拡大を図っています。

インタラクティブメディアの展開では、高い成長を続けているソーシャル・メディアに対し、収益拡大を目指した取り組みを推進しています。当期は、

Management Review

マネジメントレビュー

当社グループが取得・創出・育成した知的財産に、新たな遊び方を採用したソーシャル・ゲームの企画・開発を進めました。加えて、多様なプラットフォームへのコンテンツ展開を積極的に進めています。下半期以降は、当社グループの強みを活かし、パチンコ・パチスロのキャラクター・演出、『月刊ヒーローズ』から創出された知的財産、パートナーからお預かりした知的財産などを活用した多種多様なソーシャル・ゲームを順次投入する予定です。

また、コンシューマプロダクトの展開では、国内有数の大型の知的財産を活用したカフェ・ショップの運営や、アミューズメント施設向けの諸施策を進めています。

遊技機販売の事業では、前第4四半期に販売を開始した『パチスロ モンスターハンター』の当期計上分に加え、パチンコ・パチスロ各2機種を販売し、パチンコ販売台数は約46,800台（前年同期比 約42,400台減）、パチスロ販売台数は約54,200台（同 約7,700台減）となりました。なお、上記の販売活動に加え、下半期に投入する京楽産業（株）との提携商品第1弾『新世紀ぱちんこ 攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』、パチスロ『バイオハザード5』などの有力商品の販売に向けた諸施策も進めました。

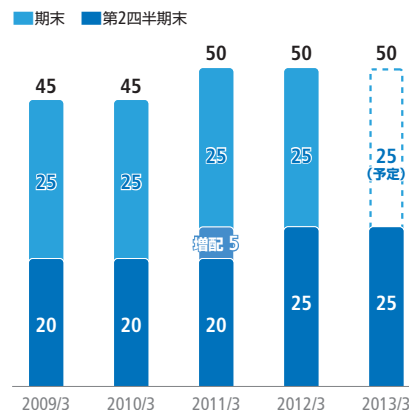
2013年3月期の見通し

2013年3月期の連結業績は、期初の計画通り、売上高1,150億円（前年同期比24.7%増）、営業利益140億円（同64.2%増）、経常利益145億円（同67.4%増）、当期純利益73億円（同21.8%増）とさせていただきます。

なお、当社は2012年10月1日付で株式の分割及び単元株制度を採用していますが、株主の皆様への配当金について実質的な変更はございません。1株当たり期末配当金は25円を予定しています。

株主の皆様におかれましては、幅広いエンタテインメント領域での当社及び当社グループの取り組みにご期待頂き、引き続き長期的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当金（単位：円）



（注）2012年10月1日付で当社株式の分割を実施しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を記載しています。

キャラクターをはじめとした知的財産の取得・創出・育成を推進

フィールズグループは、コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャндаイジングにおけるシームレスな循環型ビジネス展開によって、知的財産の取得・創出・育成を目指しています。すでに、各分野では、知的財産を活用した商品やサービスを提供しており、ここではその一部をご紹介します。

「月刊ヒーローズ」
2011年11月創刊
セブン-イレブンなどで販売中



「ヒーローズコミックス」

2012年9月に単行本発刊
セブン-イレブン及び全国の書店で販売中
©ヒーローズ



Comics
コミックス



Animations
アニメーション

「銀河機攻隊 マジェスティックプリンス」
有力企業と連携してアニメ化を推進中
公式サイトで動画公開中 <http://mjp-anime.jp/>
©創通・フィールズ/MJP制作委員会



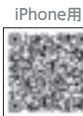
Movies / TV
映画 / テレビ

「ベルセルク」シリーズ
2013年2月、第3部劇場公開(予定)
©三浦建太郎(スタジオ我画)・白泉社 /
BERSERK FILM PARTNERS



「S.N.C.T. (サンクト)」

スマートフォン初の本格的なソーシャル・クイズ・ゲームを配信中
©Aurea Shiro Masamune / CROSSROAD・FutureScope



iPhone用



Android用



「新世紀ばちこ 攻殻機動隊
STAND ALONE COMPLEX」

新パチンコブランド「オクサー」取り扱い開始
©士郎正宗・Production I.G / 講談社・攻殻機動隊製作委員会



パチンコ・
パチスロ

ソーシャル・
ゲーム



「一騎当千 一美少女バトル」

人気コミックス「一騎当千」の公式ソーシャル・ゲームを提供
©Yuji Shiozaki/WANIBOOKS ©2012 Seekus Corp. Powered by FutureScope



スマートフォン用



フィーチャーフォン用

— 座談会 —

自分たちの仕事で CSRを実感、実践するために

当社では、2012年6月にCSR活動の社内啓蒙の一環として、社内向けに「CSR報告書Vol.0」を発刊しました。本ページでは、発刊後に実施したアンケートをもとに、CSR委員長である伊藤取締役と、フィールズの未来を担う若手社員が行った座談会の一部を抜粋してご紹介させていただきます。

CSR活動＝特別な活動ではない CSRと意識されていないCSR活動

伊藤 今日、「自分たちの仕事でCSRを実感、実践するために」というテーマで話をしたいと思い、様々な部門の皆さんにお集まりいただきました。

当社は、「すべての人に最高の余暇を」提供するという企業理念のもと、グループ企業の皆さんとともに、より多くの人の余暇時間の充実のため、より多くの人の笑顔のために、素晴らしいエンタテインメントの創造に挑戦し続けています。私は、CSR活動とは事業活動そのものであり、特別な活動ではないと理解しています。例えば、当社は創業以来、人々が本当に望む遊技機を届けるために、業界の流通構造を変え、業界の発展と健全化の一助を担ってきました。これも社会貢献の一つの形ですよね。

さて、このようなフィールズグループで働く皆さんは、今CSRをどのように理解していますか。

谷 私は今年新卒で入社したのですが、社会人になるまで、CSR活動といえば地域清掃をはじめとしたボランティア活動だと思い込んでいました。

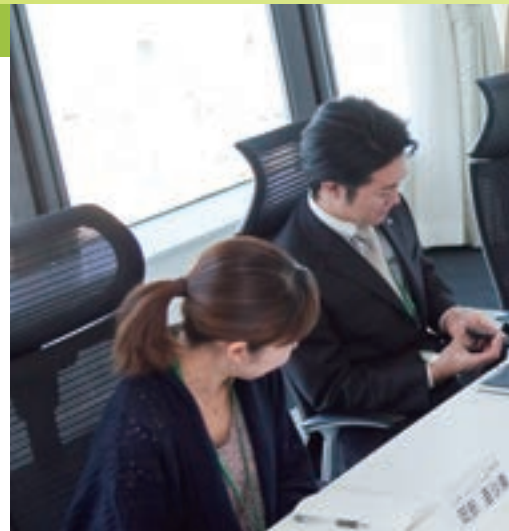
フィールズに入社して、それが勘違いだったとわかりました。例えば、営業の皆さんが利用する営業車は、すべてハイブリッド車ですよね。これが、コストという側面だけでなく、環境への配慮や安全性を考慮して選定されている。そうした事業活動における判断の中にもCSRの姿勢が反映されていると聞きました。自身の業務を振り返ってみると、私が担当する経理という仕事は、確実に正確な数値を経営陣に伝えるということで、企業の持続的成長を経営管理面からサポートしているということなんだと気づき、自身も日々の業務を通じてCSRに貢献できているのではないかと認識が変わりました。

松本 私は業務システム部で、全社員のシステム研修や情報セキュリティなどの教育を担当しています。今般、全社員のPCの入れ替えに伴って、全国の支社・支店を回り、システムの研修を行いました。また、当社の事業の幅が広がるにつれ、一般のお客様と接する社員が増えたことで、情報セキュリティやコンプライアンスの研修にも力を入れています。この研修が、お客様に信頼いただくことや、会社の情報資産を守ることに繋がってい

ると考えると、これも業務を通じたCSRの一つかな、と意識しています。

石塚 私は現在、「月刊ヒーローズ」の制作業務を担当しています。私たちのミッションは、読者の声や関係者の声に真摯に耳を傾け、世の中の人々により楽しんでもらえるキャラクターをはじめとした知的財産を生み出すことです。新たに作りだした知的財産で人々の心を豊かにするという、このミッションそのものが、私自身が意識すべきCSRかなと思っています。

北澤 私は円谷プロダクションで広報・宣伝を担当しています。円谷プロダクションは、おかげさまで来年50周年を迎えます。この長い歴史の間に、ウルトラマンをはじめ広い世代の方たちに馴染みの深いキャラクターがたくさん創られてきました。先日当社のキャラクターの一つであるカネゴンが、警視庁のピーポクんと一緒に、渋谷での振り込め詐欺防止キャンペーンに参加しました。受け流されてしまいやすい情報でも、道行く人が足を止め、耳を傾けて頂ける力がキャラクターにはあることを肌で感じています。





1 取締役 コーポレート本部長
伊藤 英雄

2 法務室
水沢 亜希子

5 業務システム部
松本 美帆

3 コンテンツ本部 企画推進1部
石塚 徹

6 経理・財務部
谷 一磨

4 コーポレート
コミュニケーション室
岡部 亜沙美

7 (株)円谷プロダクション
広報宣伝室
北澤 淳子

また、「ウルトラマン基金」を通じて、東日本大震災で被災された子どもたちを笑顔にする活動も続けています。子どもたちの笑顔は、大人たちを元気にし、地域までも元気にする、社会の健全なパワーの源であると改めて実感しています。イベントを行うことでメディアに取り上げて頂けるので、意識が薄れてきた被災地に対する思いやりの気持ちを再び喚起でき、キャラクターならではの社会貢献だと感じています。

水沢 私は法務室に所属しており、企業統治と法令遵守というCSRの基本中の基本を担っている責任を実感しています。そのほかに、地域社会の一員として様々な清掃活動に参加していますが、こういった日常業務とは一味違う活動も、やはり大切だと思います。ボランティア活動などは、参加するのに少し勇気がいりますよね。私もそうでした。でも実際参加してみると、とっても面白くて、達成感もわいてきます。本当に道行く人が「ありがとう」とか「ごろうさま」と声をかけてくれるんですよ。こうやって感謝されると、会社や家族など所属に関係なく、一市民として大きな喜びを体験する

い機会にもなります。

岡部 私はコーポレートコミュニケーション室に所属しています。私が日々の業務の中で常に心がけていることは、様々なステークホルダーの方と接する上司や先輩、同僚たちに、少しでも働きやすい環境を提供することです。これもCSRの一環と思っています。また、上司が社会貢献活動推進ワーキンググループのリーダーであることから、そのサポート業務をお手伝いしています。清掃活動をはじめ、地域とのつながりを深めるための様々な企画を立て、実施していますが、今後もっとたくさんの人に参加してもらえるような企画や情報発信を考えていきたいですね。

伊藤 今何った、皆さんの社会貢献活動に対する深い理解を、とてもうれしく、心強く思っています。

家の前にごみが落ちていたら、皆さんきっと拾うと思います。それが、会社の前、自分の通勤経路など、自分が行く先々で、目の前にごみがあったら拾えるか。そうした意識を全社員が持てる会社になっていくこと、そうした意識を社内に醸成していくことが大事なんだと思います。



「ウルトラマン基金」の支援活動の様子



渋谷駅周辺での清掃活動の様子

i 座談会の詳細は、2012年12月8日にIRサイトへ掲載を予定しています。ぜひご覧ください。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	前連結会計年度末 2012年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在	増減額
資産の部			
1 流動資産	62,811	31,529	△31,282
2 固定資産	30,790	32,467	1,677
資産合計	93,601	63,997	△29,604
負債の部			
3 流動負債	37,925	10,550	△27,375
固定負債	4,121	4,093	△28
負債合計	42,046	14,644	△27,402
純資産の部			
株主資本	51,895	50,086	△1,809
その他の包括利益累計額	△824	△1,143	△319
少数株主持分	483	409	△74
4 純資産合計	51,555	49,352	△2,203
負債純資産合計	93,601	63,997	△29,604

1 流動資産の主な差異

流動資産は、前期末から31,282百万円減少して31,529百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が遊技機の販売に伴う売掛金の回収などにより、前期末から29,083百万円減少して5,319百万円となったことによるものです。

2 固定資産の主な差異

固定資産は、前期末から1,677百万円増加して32,467百万円となりました。これは主に、「有形固定資産」が本社移転に伴う固定資産の取得などにより、前期末から354百万円増加して11,334百万円となったこと、「投資その他の資産」が敷金保証金の増加などにより、前期末から1,360百万円増加して16,797百万円となったことによるものです。

3 流動負債の主な差異

流動負債は、前期末から27,375百万円減少して10,550百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が、パチスロ遊技機の仕入れに伴う買掛金の支払いなどにより、前期末から26,617百万円減少して2,483百万円となったことによるものです。

4 純資産の主な差異

純資産は、前期末から2,203百万円減少して49,352百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」が、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより、前期末から1,810百万円減少して35,964百万円となったことによるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,332	1,070	△4,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,932	△2,625	△693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,241	△1,111	130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△4	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,153	△2,670	△4,823
現金及び現金同等物の期首残高	15,632	18,284	2,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,785	15,613	△2,172

(注) 増減額については、表上計算しています。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月 1 日から 2011年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月 1 日から 2012年9月30日まで	増減率
5 売上高	33,352	29,118	△12.7
売上原価	21,368	20,293	△5.0
売上総利益	11,983	8,824	△26.4
販売費及び一般管理費	10,401	10,684	2.7
6 営業利益又は営業損失(△)	1,582	△1,859	—
営業外収益	356	407	14.3
営業外費用	224	286	27.7
経常利益又は経常損失(△)	1,713	△1,738	—
特別利益	8	1	△87.5
特別損失	96	166	72.9
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,625	△1,903	—
法人税等	△800	△851	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,425	△1,051	—
少数株主損失(△)	△3	△71	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,428	△980	—

(注) 増減率については、表上計算しています。

5 売上高

売上高は、前年同期と比較して12.7%減の29,118百万円となりました。これは主に、収益を担うマーチャングッズ分野において、前第3四半期から本格的に注力しているソーシャル・ゲームが当期も順調に推移する一方、遊技機販売の事業では、下半期に大型商品の投入が集中しており、当期の販売台数が前年同期と比較して減少したことによるものです。

6 営業利益又は営業損失(△)

営業損失は、1,859百万円(前年同期は営業利益1,582百万円)となりました。これは主に、遊技機販売の事業で、当期のパチンコ販売台数が前年同期と比較して減少したことによるものです。



詳しい決算情報は、当社Webサイトをご覧ください。

フィールズ IR

検索

<http://www.fields.biz/ir/j/>

こちらからIR資料を一括ダウンロードすることができます。

Corporate Data

コーポレートデータ (2012年9月30日現在)

会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英文: FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー (2012年10月1日現在)
資本金	7,948百万円
従業員数	1,361名(連結)
事業内容	1. キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 2. 映像ソフトの企画開発、販売 3. 遊技機の企画開発 4. 遊技機の仕入、販売
連結対象会社	(株)フューチャースコープ トータル・ワークアウトプレミアムマネジメント(株) (株)円谷プロダクション (株)デジタル・フロンティア ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) 他 11社

お知らせ

2012年10月1日に本社を移転いたしました。

所在地 〒150-0036
東京都渋谷区南平台町16番17号
渋谷ガーデンタワー

役員

代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長 (アニメーションプロデュース本部長) 兼 コンシューマプロダクツ事業本部長	大屋 高志
専務取締役 (インタラクティブメディア事業本部長 兼 コンシューマプロダクツ事業本部長)	繁松 徹也
専務取締役 (PS事業統括本部長)	秋山 清晴
常務取締役 (コンテンツ本部長)	栗原 正和
取締役 (計画管理本部長)	山中 裕之
取締役 (コーポレート本部長)	伊藤 英雄
取締役 (PS事業統括本部副本部長)	藤井 晶
取締役 (法務室長)	未永 徹
社外取締役	糸井 重里
社外監査役 常勤	池澤 憲一
社外監査役	小池 敕夫
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎
執行役員 (計画管理本部副本部長)	小澤 謙一
執行役員 (コーポレートコミュニケーション室長)	畑中 英昭
執行役員 (PS事業統括本部副本部長)	藤島 輝男
執行役員 (PS事業統括本部支店統括部長 兼 同本部北海道・東北支社長)	若園 秀夫
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部副本部長)	小澤 洋介
執行役員 (研究開発室長)	大塩 忠正
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部長)	菊池 伸之
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部 エグゼクティブプロデューサー) ((株)デジタル・フロンティア代表取締役社長)	植木 英則
執行役員 (アニメーションプロデュース本部副本部長) (ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株)代表取締役社長)	鎌形 英一
執行役員 (インタラクティブメディア事業本部 エグゼクティブプロデューサー) ((株)フューチャースコープ代表取締役社長)	畠永 政雄

(注) ()内は主たる役職となっています。

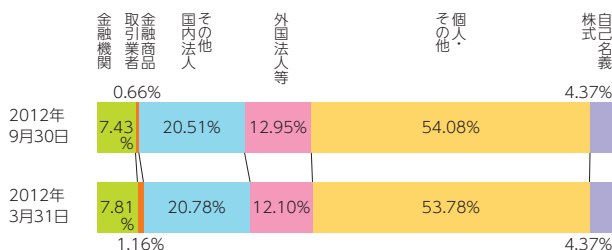
Stock Information

株式情報 (2012年9月30日現在) (注) 2012年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって分割しています。

株式状況

発行可能株式総数	1,388,000株
発行済株式総数	347,000株
自己名義株式	15,162株
株主数	9,287名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
山本 英俊	86,750	25.00
(株) SANKYO	52,050	15.00
山本 剛史	36,128	10.41
(有) ミント	16,000	4.61
ビービーエチルクス ファイデリティ ファンズ ジャパン アドバンテージ	7,224	2.08
ノーザントラスト カンパニー (エイアイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	7,031	2.03
資産管理サービス信託銀行 (株) (証券投資信託口)	6,869	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株) (信託口)	6,616	1.91
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	6,540	1.88
大屋 高志	4,500	1.30

*当社所有の自己名義株式は除いています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行 (株)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 (株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行 (株) の本店及び全国各支店で行っております。
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ) 証券コード: 2767
公告方法	電子公告 URL http://www.fields.biz/ir (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

◎住所変更のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行 (株) にお申出ください。

◎未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行 (株) にお申出ください。

◎「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

第三者によるフィールズの分析レポート



木村佳子 (きむら よしこ)

経済評論家 資産運用アドバイザー

日本IRプランナーズ協会理事、(社)くらしと生活者フォーラム代表理事。日本チャート分析家協会JCAA代表。一級FP技能士(国家資格)自治体の住宅整備専門委員。個人投資家向け経済情報番組のラジオキャスターを長く務め、資産運用に強いエコノミストとして活躍。投資家ニーズに基づいた企業IRセミナーや生活者の視点から、ライフプランを踏まえた貯蓄、外貨、投信、株式など運用全般への理解をベースに、日本証券業協会、日本FP協会等で金融知識普及を主眼においた講演機会が多い。「株入門の入門」(明日香出版)「カレンダー投資法」など著書多数。

フィールズ(株)(以下、当社)は、幅広いエンタテインメント領域で、消費者のニーズをリサーチし、これに基づく商品やサービスを提供しています。

例えば、遊技業界では、消費者には「こういう遊技機で楽しみたい」という使い手ならではのニーズがありますが、現実的には消費者自らが、その声を機器メーカーに届ける機会は少ないといえます。各機器メーカーにしてもコンテンツ開発費の固定費化を避け、製造技術に事業資本を集中させるほうが企業経営の観点からは合理的といえるでしょう。さらに、ホールは、魅力的な機器によって集客につなげていきたいというニーズがあります。そこで当社は、消費者のニーズを基に、取得・創出・育成したコンテンツを活用した魅力的な商品を機器メーカーに提案、ホールに販売するといったソリューション・ビジネスを展開しており、従来の遊技空間をよりおしゃれな余暇環境として生成発展させ、遊技業界に継続的なブラッシュアップ効果をもたらし、業界全体の活性化にも寄与しています。

IR Community IRコミュニティ

個人投資家向け会社説明会

多くの個人投資家の皆様に、当社への理解を深めて頂きたいという思いから、全国各地で個人投資家向け説明会を開催しています。2013年3月期上半期は、6月に大津、鳥取、8月に札幌、9月に宇部、那覇へお伺いし、累計で約570名の方に当社の事業戦略や成長戦略についてご説明させて頂きました。このように多くの方とコミュニケーションを図る場を積極的に設けるとともに、ウェブサイトでの情報発信を強化するなど、様々な面からIR活動を充実させ、株主及び個人投資家の皆様からご支持、ご理解を頂けるよう努めてまいります。



〈札幌会場〉



〈宇部会場〉

さて、当社は大証ジャスダック市場に業種・商社分類で上場。2012年5月9日発表データによると総資産が1千億円に迫る936億円、そのうち利益剰余金377億円、有利子負債16億円と堅牢な経営基盤を持ち、株主資本を効率的に使っているかを見る指標ROEの予想連結ベースの数値は14.2%です。ちなみに機関投資家はこの値が11%以上の企業を評価するといわれます。

その割に、株価は割安で、株価が資産の何倍まで買われているかを見る指標PBRは0.7倍（1以下の場合が割安）、株価が利益の何倍まで買われているかを見る指標PERは連結予想ベースで5.2倍です。ジャスダック・スタンダード上場876社の予想数値は約12.6倍なので、割安感があるといえるでしょう（PBR、PERは2012年10月現在）。

その理由ですが、当社は企業間取引が主体で、民間に社名が知られる機会が少ない点が考えられます。日本の株式市場には合計3,638社もの企業が上場しています（2011年11月・大和IR調べ）。そんな中で、日用品などの商品名で社名が知ら

れる企業と比較すると、「何をしている会社?」「どんな事業形態?」の伝わりにくさがあると言えるでしょう。

当社はその課題を解決すべく、売買単元を1株から100株に変更。また、全国展開で個人投資家向け企業説明会を精力的に開催しています。

いつでも買える、いつでも売れる株式の流通性を持つことが上場企業の課題の一つですがそのためには機関投資家のみならず幅広い層の個人投資家に向けたIRは効果的です。今後はさらに株式投資をしていない人にも社名を知られるよう、フィールズ独自のキャラクター商品の販売、若い世代に社名を知られる企画、話題性のある株主優待を導入するなど、常に複合的に社名を知られ続ける展開が有効な施策ではないかと思えます。

また、企業の社会的責任として、新しい余暇ライフスタイルの提唱などの独自の取り組みも有効ではないでしょうか。

2014年には団塊と呼ばれる人口の厚みのある世代がほぼ、退職年齢に入り、快適な余暇時間、余暇空間の創出が待たれます。当社の全世代に向けた今後の取り組みに期待します。

株式の分割・単元株制度の採用について

当社は、2012年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の皆様のお所有株式数を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

(例) 株式分割前の保有株式数：1株 → 株式分割後の保有株式数：100株

また、株式分割の効力発生日（2012年10月1日）をもって単元株式数を100株とする単元株制度を採用し、当社株式の売買単元は1株から100株に変更されました。

なお、上記株主名簿に記載または記録された株主の皆様には、当社株主名簿管理人（三井住友信託銀行（株））より「株主通知」をお届けしておりますが、同通知書には、株式の分割により増加した株式数のみが表示されていますので、ご注意ください。

(例) 分割前の保有株式数：1株 → 同通知書に記載されている増加した株式数：99株



www.fields.biz

すべての人に最高の余暇を

企業理念への想い

VOICE

私たちは同じ時代を生きる人々の幸せと豊かで素晴らしい人生に貢献していきたいと考え、志を同じくする従業員や、私たちの想いを共有してくださるパートナーの方々など、様々な力をコラボレーションして、今までにない喜びの創造に向けた挑戦を続けています。

「すべての人に最高の余暇を」。この企業理念の達成にはまだまだ多くの挑戦が必要となりますが、近い将来の達成に向け、そして多くの方から、また社会からご期待や信頼を頂けるよう今後も進んでまいります。

私たちフィールドズの企業活動を深くご理解頂いている多くの株主の皆様にご礼申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

文・表紙文字=取締役 (PS事業統括本部副本部長)

藤井 晶

IRお問い合わせ先

フィールドズ株式会社
コーポレートコミュニケーション室 IR課

☎TEL 03-5784-2109

✉MAIL ir@fields.biz